

上田 亨先生のお墓へ集団でお参り

旧職員 周東 智 (23 期 1980 年卒)

昭和 50 年代後半、旧薬品有機化学研究室において、故 上田亨先生に薫陶を受けた十数名（北 24 条の居酒屋で、毎週土曜日の夜から翌日夜明け近くまで飲んだくれた面々）で、上田有機會と称する親睦の会を、不定期ながらほぼ毎年開いています。

一昨年集まった際に、東京ご出身ながらアンチ巨人で阪神タイガースファンだった上田先生に、ご存命中の 1985 年以来 38 年ぶりの日本シリーズ制覇*を墓前にご報告しようということになりました。そこで今年（令和 6 年）9 月 7 日、同メンバーで南区滝野霊園にある恩師 上田亨先生の墓へ参りましたが、いつの間にかメンバー全員が先生の亡くなられた年齢を優に超えました。

まず前日夕方、南区の小金湯温泉に集合し、ゆっくり旧交を温め（写真 1）、翌日午前には墓参しました（写真 2）。

*筆者注：永久に不滅なはずの我が巨人軍は、愚将原辰徳が居座ったせいで、昨年まで B クラスが続き、滅亡の危機にあった。しかし、阿部新監督によって蘇生正常化し、今年は阪神の狂い咲きもなく、通常通りリーグ優勝したものの、クライマックスシリーズで三浦横浜 DeNA に敗北。来季の日本一が待たれる。

写真1：小金湯温泉玄関前にて

前列左から、碓井博幸(25 期)・澤田石祥子(旧姓佐藤 23 期)・周東 妻・井上英夫(12 期)、小柳正之(24 期)

後列左から、富樫浩之(21 期)、富樫寿美代(旧姓谷川 23 期)・周東智(23 期)・山口十四文(23 期)・津田重城(24 期)・福川清史(昭和 55～56 年度研究生)・伊豆田俊二(24 期)





写真2：上田先生のお墓にて

タイガース日本一とともに、各々、社会で一仕事を無事終え定年退職したことをご報告しました。その後同霊園名物のモアイ像の前で記念撮影しました(写真3)。

その晩は懐かしい札幌ビール園で、昔に比べ高級になったジンギスカンと新鮮なサッポロクラシックを堪能しました(写真4)。学生時代のジンギスカンといえば、透けるほど薄い円形に整形されたラムが定番でした。美味な生ラム肉になっていることに時代の流れを感じました。来年の日光での開催決め、散会した次第です。

全員高齢者ですので、来年日光で無事全員再会できること、さらに、本会常連で療養中の小野晶さん(24期)の回復・復帰を一同強く願っています。

同窓会 HP:2024年12月18日公開



写真3：滝野霊園モアイ像の前にて



写真4：札幌ビール園ライラックで懇親